

コードやプラグなど配線器具の
取り扱い不備により発火事故が多発しています

こんな使い方をしていますか？



コードを本体に巻き付けたり、
ねじったりする



コードを束ねる



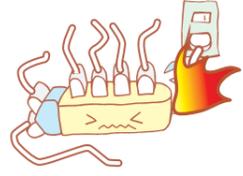
水などをかける



自分で修理をする



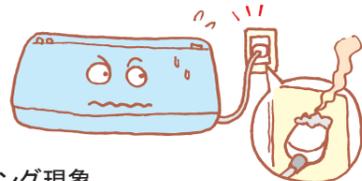
コードを踏み付ける



たこ足配線をする
定格電流・電圧を超えた使用をする



コードを引っ張る



トラッキング現象
長期間、プラグを差しっぱなしにする
プラグにほこりがたまってきたままになっている

【NITE(ナイト)】

事故情報やリコール情報等の検索のほか、注意喚起チラシなどのダウンロードができます。また、最新事故情報などをまとめた製品安全情報マガジン(PSマガジン)の配信登録も行えます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

【経済産業省】

新着情報、リコール情報、製品安全にかかわる政策情報などをご覧いただけます。

http://www.meti.go.jp/product_safety/index.html

製品事故等が発生したら…
消費者庁、お近くの消費生活センターにご連絡ください。



経済産業省商務流通保安グループ
製品安全課製品事故対策室
TEL 03-3501-1707



NITE・製品安全センター
製品安全調査課
TEL 06-6942-1113

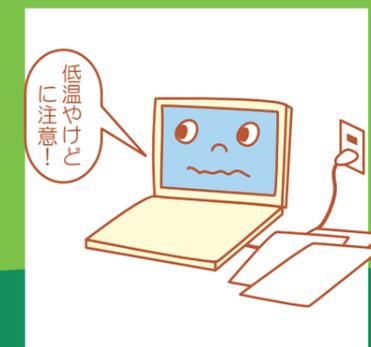
2013年3月

新生活スタート

くらしに潜む危険

etc.

—取扱説明書をよく読んで安全・快適ライフを—



事故 ナイト いいね



火を使わないのに発火

事例

電磁調理器（IHこんろ）で揚げ物を調理中、その場を離れていたら、なべの油が発火して周辺の壁などが焦げた。（2011年7月 兵庫県）

原因

揚げ物調理中、その場を離れていました。また、取扱説明書で禁止事項としている「底が反ったなべ」を使用して「少ない油量」で調理していました。



火を使わない電磁調理器でも天ぷら油火災が起こっています。油の量が少ない場合や、なべ底に反りがあると温度センサーが正確に働けません。取扱説明書に従って付属のなべや揚げ物キーを使用しましょう。調理中は絶対にそばを離れないでください。汚れ防止シートの使用により、温度センサーが正常に働かないことがあります。十分に注意しましょう。

『汚れ』から出火

事例

ガスこんろの天板とグリル排気口付近が焼けた。（2012年1月 三重県）

原因

清掃不足でグリル庫内に残っていた油脂に、消し忘れたグリルの火が燃え移って出火したものです。



グリル内は、魚の脂などの汚れが残らないよう日ごろから手入れをしましょう。水を入れるタイプの場合、入れ忘れないでください。水以外のもの、例えばグリル石に付着した汚れに着火することもあります。

『汚れ』で発火

事例

電子レンジの庫内から発煙し、庫内の一部が溶けた。（2012年2月 大阪府）

原因

庫内に食べ物などの汚れが付着していたため、汚れに電波が集中して炭化し、発火したものです。



庫内やドアに汚れが付着したまま使用しないでください。発煙や火花の原因となりますので、こまめに清掃してください。食品の過熱は発煙・発火の原因となりますので注意してください。

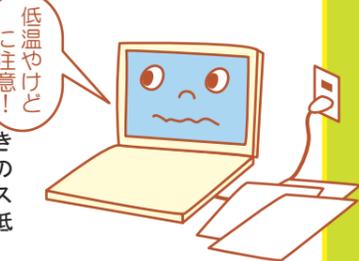
ノートパソコンで低温やけど

事例

ノートパソコンの上に顔を乗せて4～5時間寝込んだら、低温やけどを負った。（2010年7月 長野県）

原因

パームレスト（キーボードを打つときに手のひらを置くためのスペース）の上に顔を置いていました。パームレストが通電による放熱で温度上昇し、低温やけどを負ったものです。



パームレストの熱、または排気口の温風などで低温やけどを負うことがありますので、長時間にわたって皮膚が触れないように注意してください。温かいと感じる程度の温度でも低温やけどを負うことがあります。ゆたんぼや、携帯電話、スマートフォン、電気こたつなどにも注意しましょう。

タイヤに異物が巻き込まれ転倒

事例

自転車で走行中、突然前輪がロックしたために投げ出され、頭部を強打した。（2010年7月 神奈川県）

原因

走行中、前ホークと車輪の間に異物が巻き込まれ、前輪が急にロックしたものです。



自転車のハンドルに荷物や傘をかけないでください。フレームの亀裂やペダル、ギヤの錆びやチェーンの伸びなど点検不足による事故も起こっています。乗車前には点検を行ってください。購入後1～2カ月のうちに販売店で初期点検を受けましょう。

豆乳が突然沸騰してやけど

事例

マグカップに入れた豆乳を電子レンジで加熱して取り出したところ、突然噴き出して顔にやけどを負った。（2011年2月 三重県）

原因

飲み物用ではなく自動用の温めキーで加熱したため、過熱状態となり、飲もうとした際に突沸現象を起こしたものです。



飲み物（水・牛乳・酒・コーヒーなど）やカレーやシチューなどのとろみのあるものなどは、加熱中や加熱後に突然沸騰して飛び散ることがあります。

少量の食品は自動ではなく、手動でようすを見ながら加熱してください。飲み物は加熱前にスプーンなどでかき混ぜて突沸が発生しないようにし、加熱し過ぎた場合は、しばらく冷ましてから取り出してください。

洗濯物が自然発火

事例

乾燥機付き洗濯機で乾燥運転中、白煙が出て異臭がし、洗濯物が焼けた。（2010年3月 広島県）

原因

油が付着した洗濯物を乾燥したため、油が酸化し、その際に発生した熱がこもり、自然発火に至ったものです。



アロマオイル、食用油、機械油、ベンジン、ガソリンなどが付着したタオルや衣類は洗濯した後でも乾燥機で乾燥させないでください。酸化熱で自然発火するおそれがあります。

LEDランプが発煙

事例

LEDランプのスイッチを入れたところ、発煙した。（2010年10月 埼玉県）

原因

取り付けの際、外さなければならぬ安定器をつけたまま使用したため、回路に過電流が流れて発熱し、破損したものです。



誤った製品を取り付けたり、取り付け方法を間違えて使用するとおそれがあります。特に蛍光灯器具のランプをLEDランプに交換する場合、既存の器具に適合するものかを確認してください。なお、取扱説明書等でも指定の器具について、注意喚起がされていないものもあるので注意しましょう。

脚立から転落して打撲

事例

脚立で作業中、転落して打撲を負った。（2012年1月 茨城県）

原因

脚立にまたがっていたため安定が悪くなり、バランスをくずして転落したものです。



脚立にまたがらないでください。取扱説明書で禁じている天板や踏みざんには絶対に乗らないでください。はしごから転落する事故も発生しています。はしごは、取扱説明書に従って立てかけてください。軟らかい地面や凍った地面、段差のあるところなど不安定な場所に設置しないでください。体を乗り出したりすると、バランスを崩すことがあり、危険です。

リコール製品 事故が発生しています

リコール製品の事故が発生しています。NITEのホームページでは、リコール情報の検索ができるほか

(<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>)

製品ごとのリコール情報をまとめたリーフレットや最新のリコール情報のちらしなどを見ることができます。

お持ちの製品を確認してください。

毎月第2・4火曜日に電子メールで配信している「PSマガジン」にも最新情報を掲載しています。

